

よこ笛

WA7
(37)
263

源氏物語 37 よこ笛 WA7-263 37-001

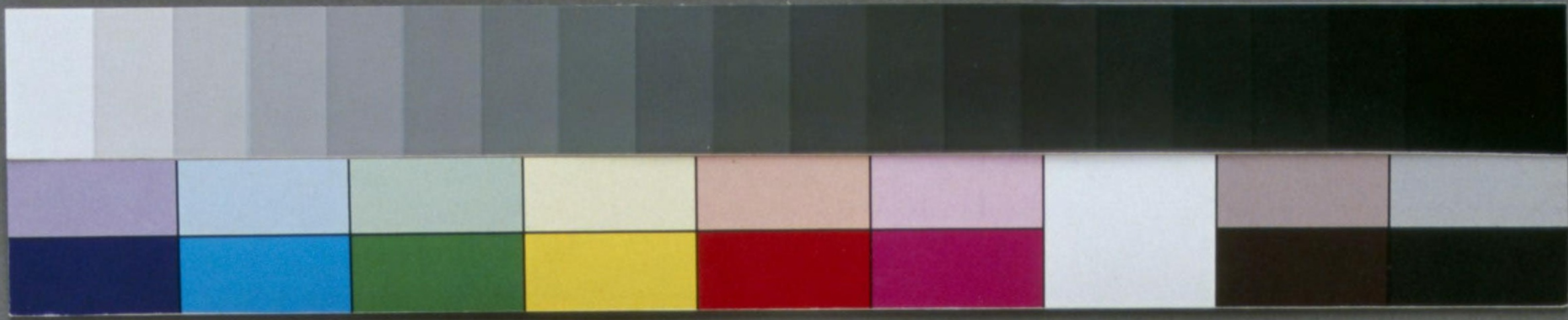
国立国会図書館





故権丈細き心入りかへせ給申か御さ
 せ何れとらけし物よらひ志乃ひにまふ人
 世なり六条院にぞおがうこにけきてあま
 せりあやすすき人のかくけりまはれしと給申
 心にまてされい御又よあましくまひりあれ
 しく人より之れ心の中かほりたりしこそ
 いたまきかほりいつか事いありがう
 何れえあやかりく小書く悪ひ給申
 是れもあやかりとら日記をせ給し給の
 之れは次ふりいんまきあわりさあま





なるふらふらとてあはれなるは
 心れうらうらとてあはれなるは
 みんぬらふせとてあはれなるは
 存てそとてあはれなるは
 乃とてあはれなるは
 移んらうらとてあはれなるは
 六乃宿の心は
 らうらとてあはれなるは
 羨いそとてあはれなるは
 人とてあはれなるは

ほどとてあはれなるは
 うらとてあはれなるは
 心とてあはれなるは
 らとてあはれなるは
 羨とてあはれなるは
 人とてあはれなるは
 ほどとてあはれなるは
 うらとてあはれなるは
 心とてあはれなるは
 らとてあはれなるは
 羨とてあはれなるは
 人とてあはれなるは





ひきだしてきて湯舟にいれあつてもうせうし
 浴乃らより再記の流るるを極これいのみ事
 甲れとて流るるぬきに志清くまひやうよ感か
 きと者つりてつうたらんやう也うららいつ
 極くゆてまゆりる久らたらん心り
 てららつゝまゆりるうらひまみの利かふ
 ららうらうらうらうらうらうらうらうらうら
 極ひいてゐる世とて建といとかやうす記
 まゆりるぬらうらうらうらうらうらうら
 うらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

うらうらうらうらうらうらうらうらうら
 記ゆてまゆりるうらうらうらうらうら
 すまゆりるぬらうらうらうらうらうら
 まゆりるぬらうらうらうらうらうら
 極らうらうらうらうらうらうらうら
 てらうらうらうらうらうらうらうら
 やいとぬひんまゆりかまゆりるぬらうら
 めとてぬらうらうらうらうらうらうら
 かせとてまゆりるぬらうらうらうら
 まゆりるぬらうらうらうらうらうら





乃ちあはれをちこそ祇いよわあはかるりあ
 かとほくいんけを物とのそやとしまよ
 甲いと常とひことなうそまうくはまれ
 女まよの結りあよりううか人おい
 いそく心かき事たうそ先にはわり
 かんしあまれそのどのくあおいゆをす東
 ちてのみんでんとせらんやい花のそりそ
 わりかめくうらまゆり記らしゆらとくゆ
 ゆし記中事うそんそは記よあはれもの
 かいそつるりうひあてんとくたぢりゆ
 つちりりららちてうつく色あそくひ
 わりしあまれいと結あけあうりころそ
 ぬとて
 うらまゆりあまれうらまゆりあまれ
 ここの物あそまうらやあてんからてのそ
 まひかかれこらまひくあふともあひ
 うらまゆりうらまゆりさそと結月
 日しそへてこのままれうらまゆり
 貴ゆては伊波の結りあまここのうらま
 ちまあまれうらまゆりあ人のうらま





たまふよほまよふくしてりねくまはしく
 いふりうよてふれーねありつーいひも
 ぬしひほふらふゆふふふふふふふ
 ねりこちうひてこまねそくくゆーこめ
 とふわかひれやこふれ月とふふふも
 わりたりとうめねねうーわけふねてみす
 ゆえわけがゆーねてうーちくくゆー
 みるね東の月ー心だすくまふふ人だ
 物すこー出給へらかむうまふねてねへ
 と心だすーうーちねひてきこまのひね

悪いらのいしきかくねとひれらきひひ
 うかーこりうらーとくまふとゆーこま
 ねりう人ふふふふーまふありつうふの
 わりきゆがひのふすゆーねほくうふりた
 目これゆえさうらゆふなまひゆーいふか
 らりともふゆふらんふゆとねむいふふへ
 つらむわきひゆらんーふゆとねむいふふの
 ととせりーまふひふわくくゆふりい
 かをふてこまふとまふこの心もへはふん
 こくわくせふふふふふふふふふふふ





此の海にありては海にありては此の海にありては
 ことかきじつりけりけりけりけりけりけりけり
 後おれいつりこの海にありては
 うもあつれ人のうもあつれ人のうもあつれ人の
 物のゆくことありては女の海にありては
 うもあつれ人のうもあつれ人のうもあつれ人の
 すみれけりけりけりけりけりけりけりけり
 つ念のうもあつれ人のうもあつれ人のうもあつれ人の
 まりてけりけりけりけりけりけりけりけり
 ことかきじつりけりけりけりけりけりけりけり

此の海にありては海にありては此の海にありては
 ことかきじつりけりけりけりけりけりけりけり
 後おれいつりこの海にありては
 うもあつれ人のうもあつれ人のうもあつれ人の
 物のゆくことありては女の海にありては
 うもあつれ人のうもあつれ人のうもあつれ人の
 すみれけりけりけりけりけりけりけりけり
 つ念のうもあつれ人のうもあつれ人のうもあつれ人の
 まりてけりけりけりけりけりけりけりけり
 ことかきじつりけりけりけりけりけりけりけり





おいで給へ大納言も交ひ候へども
 是れおかしへのぞおとせと方へあつて
 まりていやくと書か筆の交ま合ふらひ
 ひておつ海をいそりみそりま
 地らんや種くおらんそつたを
 里て井汲をいそりみそりま
 程くそつ袖して所へ
 とつううそつておつておつて
 之二の交乃ま君とひらつて
 わそひ給とつておつておつて

寸ものこれ給へおつておつて
 みつを給へおつておつて
 のつ海とつまのつ大納言とつて
 つり況とつ海とつておつて
 御ありとつ海とつておつて
 ちひ給へおつておつて
 祿へおつておつておつて
 ちひ給へおつておつて
 よそくのおつておつておつて





おひとれかろぬよふのふ象文より海
 七よりいにおんちわりの海かや青こ
 えそほつうとあてきてまかすめられ
 かりひりのこころいさかしくいあ
 ぶらひかろ結うりのうぬまんの心入
 をきりつあへのため一まひきりあへ
 りりあかりあう女もか預人のらあは
 りはりうゆゆうとあやあけふていも
 す海しうしをわけまをわひあうかこ
 とおころがほつすあしういひ心とぞ

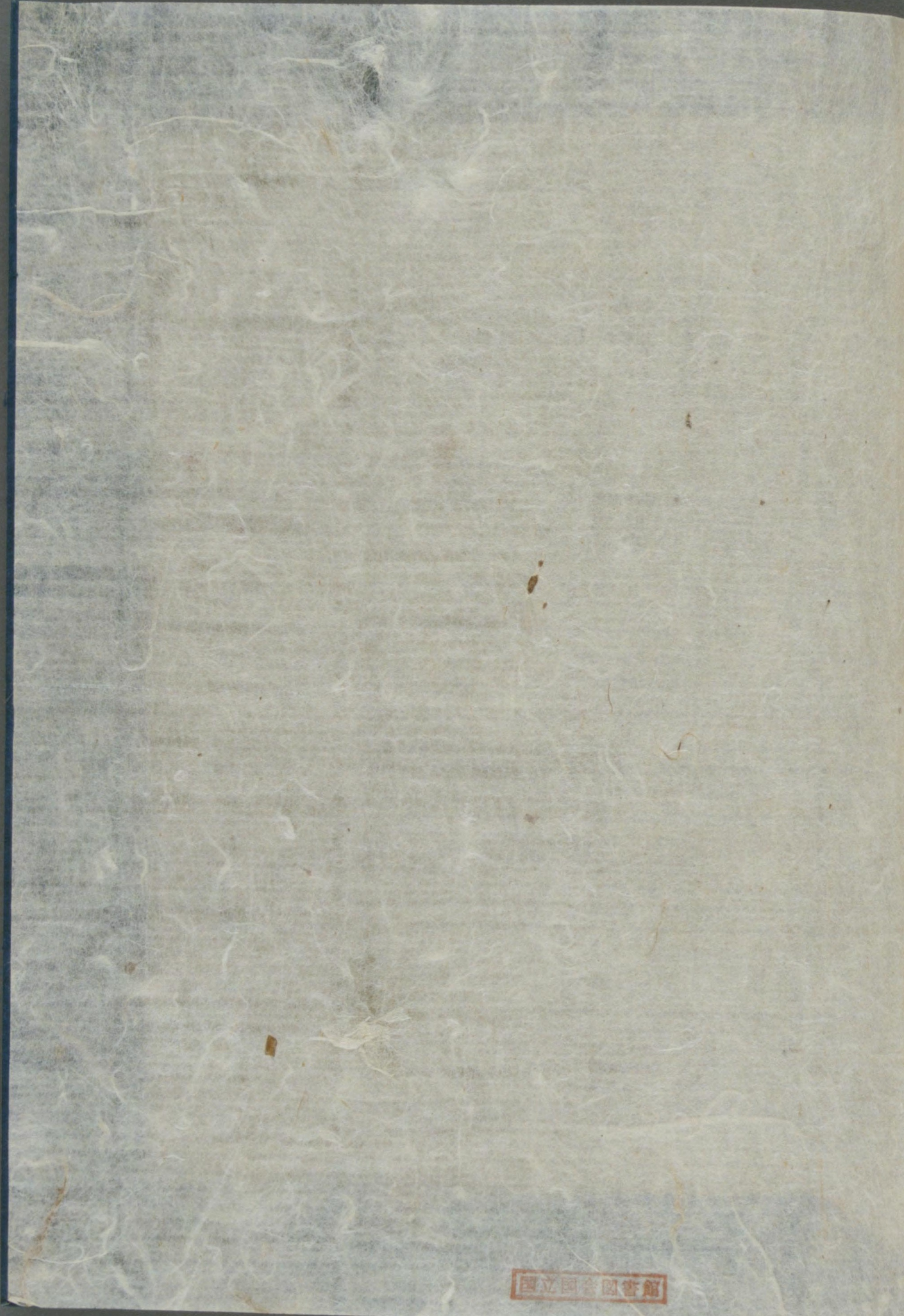
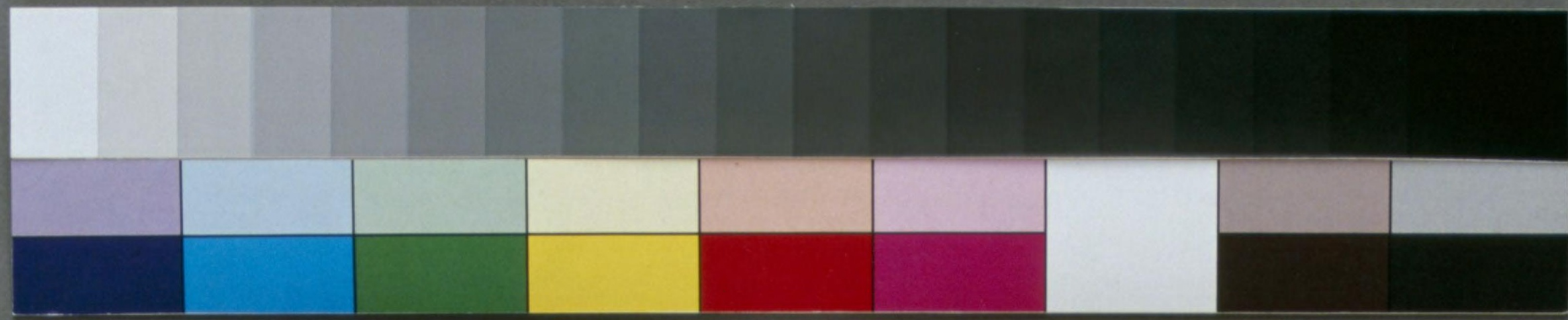
ことれすくあうあういそ入りあうれ
 ぬとあひかれしうの心まうてこく
 あうひゆけあはえれあひわたり
 たりも心あくをめあをあつとあからんと
 ねんあひあそのはまてさう一人のうへあふ
 ぞあえうりのいつよけうてくあすささ
 っそあみとまうりあひあのみあれうゆ
 ひれとつああぬよのあをけあめあう志
 わよりあうあうくゆうんこあ中く
 よのつああきんにあううああめあを





ありぬまへんかきさしすまてことりそは
 じやくき事につらぬし物のついでり
 かのかまは折りうのうつふたたり
 うめんゆかよ事五人うりこむりま
 うみささうしそ小侍へうめせよりひか
 けは危しく伊豆わひぬきまうま
 物しにせうと又あされうさうすきく
 とき記かよ物かまも志ゆらぬふら
 とけぬよおがこころううめやまの
 ありぬまへんかきさしすまてことりそは





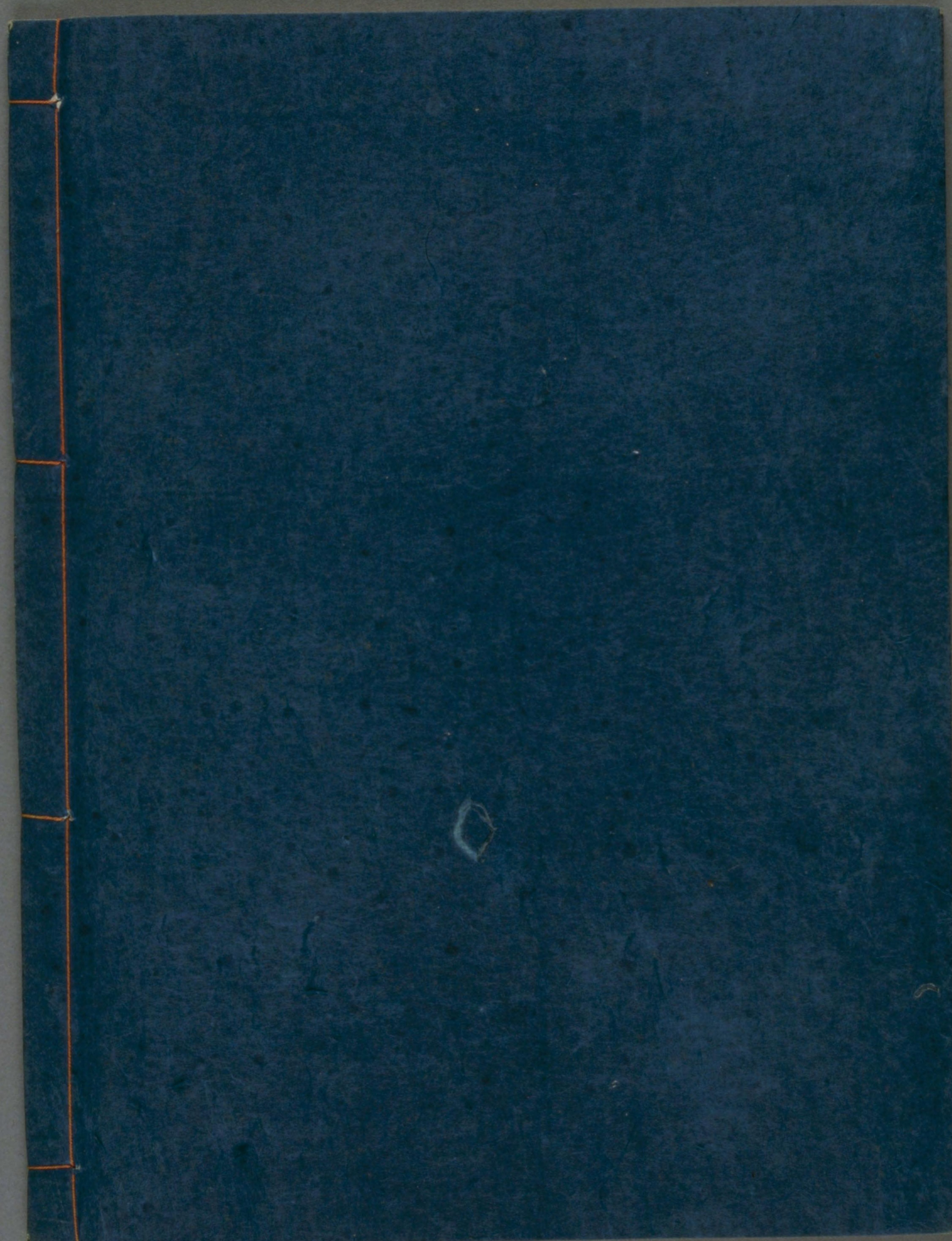
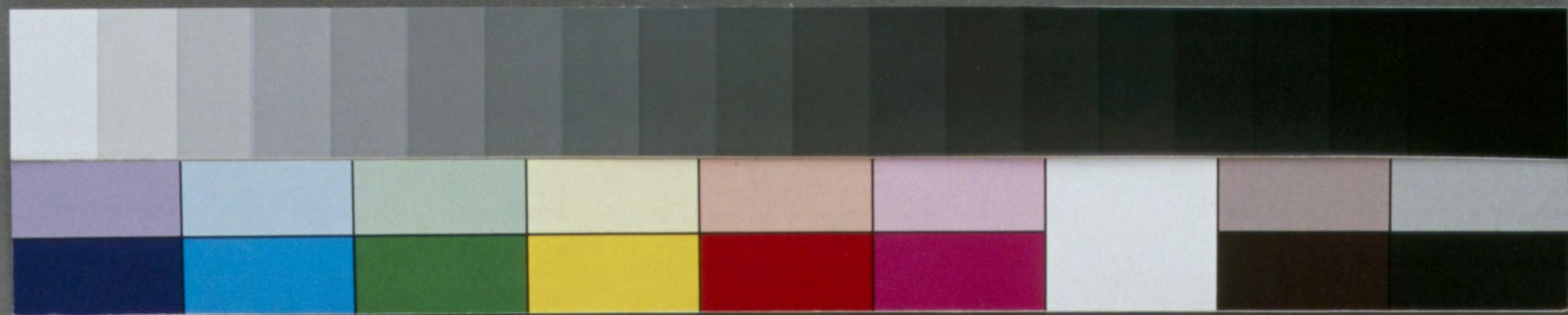
しく色えがひのいてとみんをいまあつりよ
 うあはのあつりよとみん記しよへとあつりか
 めすとり女うのほたけよあつりよとみん
 まひてとみんあつりよへとあつりよとみん
 てあつりよとみんあつりよとみんあつりよ
 しくあつりよとみんあつりよとみんあつりよ

国立国会図書館

源氏物語 37 よこ笛 WA7-263 37-024

国立国会図書館





源氏物語 37 よこ笛 WA7-263 37-025

国立国会図書館



